

稲作だより

第6号本田管理・茎数確保偏

令和7年6月12日

最上総合支庁農業技術普及課 ☎0233-29-1333

**分けつ少ない！
浅水管理で分けつ発生を促そう！**

◎生育診断圃の6月10日生育調査結果と技術対策

品 種	年 次	移植日 (月日)	草 丈 (cm)	茎 数 (本/㎡)	葉 数 (枚)	葉 色 (SPAD値)
はえぬき	本 年	5/26	22.5	101	5.3	26.3
	前 年	5/25	24.4	113	5.7	28.5
	平 年	5/24	26.1	115	5.7	27.7
	平年比・差	+2	86	88	-0.4	-1.4
つや姫	本 年	5/16	28.6	247	6.3	39.5
	前 年	5/16	32.6	238	6.2	36.2
	平 年	5/17	30.3	257	6.3	35.2
	平年比・差	-1	94	96	0.0	4.3
雪若丸	本 年	5/28	21.2	131	5.1	29.1
	前 年	5/23	20.2	141	5.5	28.0
	平 年	5/24	22.6	186	5.7	32.4
	平年比・差	+4	94	70	-0.6	-3.3

日中止水 + 浅水管理で分けつ促進！！

茎数は、平年の70～96%となっています。

生育診断圃では、特に平年より移植が遅い「はえぬき」、「雪若丸」での茎数が平年より少なくなっています。

移植が遅い圃場では、6月10日時点で
最初の分けつが出ていないところもあります。

目標茎数を確保して適期に中干しを行えるよう、
浅水管理（水深2～3cm）を徹底しましょう。

中干し開始時の茎数の目安

品種	㎡あたり茎数	株あたり茎数
はえぬき	380 ～ 430	18 ～ 20
つや姫	330 ～ 370	16 ～ 17
雪若丸	450 ～ 500	21 ～ 24
あきたこまち	360 ～ 410	17 ～ 19

土壌の還元が強い圃場は早めの田干しで酸素供給

足を踏み込んだ際に盛んに気泡が発生する圃場は、土壌の異常還元（ワキ）による生育不良を起こしている可能性があります。

早めに田干しを行い、土壌に酸素を届けましょう。

斑点米カメムシ類「多い」 地域ぐるみの対策が重要

◎継続的な草刈りで斑点米カメムシ類対策

7月下旬までの継続的な水田内外の除草

6月2～4日の県病害虫防除所の調査によると、斑点米カメムシ類の発生量は「多い」状況です。

昨年度、斑点米カメムシ類による被害が落等原因の大半を占めました。斑点米カメムシ類の個体数を減らすため、生息地になる**畦畔や農道、休耕農地等の継続的な除草**を行いましょう。

また、水田内のノビエやホタルイといった雑草繁茂も多発生の原因になります。残草が多い場合は**後期除草剤等で対策**を行いましょう。

斑点米カメムシ類対策は、**地域ぐるみでの対策が重要**です。集落全体で協力して行いましょう。

◎葉いもち対策

取り置き苗はただちに処分！

まもなく梅雨時期となり、いもち病が発生しやすい時期となります。

取り置き苗を圃場に置いている場合は、近隣圃場への感染源になる可能性があります。ただちに処分しましう！

箱施用剤を使用した圃場でも、油断せずに葉いもちの早期発見に努め、発生初期に防除しましう。

スマートつや姫『適期作業カレンダー』を使ってみよう！

◎実測値＋約1ヵ月先＋(以降平年値)の気象予報を反映【毎日更新】

◎圃場を選び、品種、移植日、葉齢を入力して、葉令予測、
中干し開始時期、穂肥時期、出穂期、刈取適期等の
予測をチェックしてみよう

◎「つや姫」に加えて、「はえぬき」「雪若丸」等にも対応。

専用 HP にアクセス



詳しくは農業技術普及課へ（ログインにはIDとパスワードが必要です）

品種	つや姫	毎日更新！ 実行
移植日	2025/05/15	
苗の葉齢	2.5 枚	
6月10日現在の生育ステージ		6.3葉期頃 出穂前60日頃
管理・生育ステージ		作業適期の 予測結果
移植日	5/10	6/19頃
茎数を確認し、中干し開始を判断（8葉期頃）	6/19頃	
穂肥適期	7/11～7/16頃	
灌水（花水）に切り替え（出穂期3日前頃）	8/7頃	
出穂期	8/10頃	
斑点米カメムシ類防除（穂揃期）	8/13頃	
斑点米カメムシ類防除（穂揃期後7～10日）	8/20～8/23頃	
落水（出穂後30日以降）	9/9頃	
刈取適期	9/23頃	
※高温登熟年のため刈取適期の前倒し 刈取開始（出穂後積算気温1000℃）		9/23頃
刈取晩限（出穂後積算気温1200℃）		10/4頃

農作業事故と熱中症に十分注意してください！
休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！